

JWSF

Japan Wheelchair
Seating Foundation

日本車椅子シーティング財団 財団通信 2025年 夏号

2025年8月26日 No.19

一般財団法人日本車椅子シーティング財団、〒103-0012中央区日本橋堀留町1-10-1カクタビル2F
http://www.wheelchair-seating.org/ e-mail:info@wheelchair-seating.org

Content

1.セミナー告知

子どものシーティング制度に関するアンケートと報告セミナー

2.日本車椅子シーティング財団の設立からの歩み

3.お知らせ

第52回国際福祉機器展HCR2025・第41回日本義肢装具学会学術大会

子どものシーティング制度に関するアンケートと報告セミナー開催のお知らせ

私たち日本車椅子シーティング財団は、障害のある方が心地よく、機能的かつ安全に座ることができるように、当事者、関係者、をサポートすることを目的に活動しています。

これまで、「車椅子での過ごし方」や「日常生活場面での姿勢の工夫」など、シーティングに関する知識や技術を伝えるセミナーを多数行ってまいりました。

今年度子どものシーティングをテーマにセミナーを企画しようと考えた時に、私たちは「シーティングに関わる制度は、本当に必要な人に、必要な形で届いているだろうか?」「制度が存在していても、その仕組みが複雑でわかりにくく、十分に活用されていない現状があるのではないかな?」

「制度が変わる時、その背景や目的が利用者に伝わらないまま、現場が混乱しているケースがあるのではないだろうか?」という疑問を持ちました。

そして、障害のある18歳未満のおさまの保護者の方々を対象に、シーティングに関する制度がどのように理解され、どのように活用されているのかを把握するためのアンケート調査を実施しました。このアンケートは、単に利用状況を知るためだけでなく、制度が「もっと使いやすく」「もっと役立つもの」になるにはどうすればよいかを、皆さまで一緒に考えるきっかけにしたいという思いから実施したものです。



そして今回、その結果を広く共有し、制度の今後のあり方について意見交換を行うために、報告セミナーを開催することといたしました。

セミナーではまず、アンケート調査の主旨と結果をご報告し、そこから見えてきた現場の声をご紹介します。また、厚生労働省より制度についてのご担当者様をお招きし、現在の制度の仕組みや運用について、わかりやすく解説していただきます。

後半には、行政・支援者・補装具提供者など、多様な立場のメンバーが集まってパネルディスカッションも予定しています。制度を現場でどう生かすか、どのように改善していけるか、参加者全体で意見を交わし、次のステップにつなげていきたいと考えています。

セミナーは会場とZoomのハイブリッド形式で実施し、後日録画配信も予定しています。どなたでも無料でご参加いただけます。

子どもたちがより快適に、安心して「座る」ことができる社会をめざして。

皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

■セミナー詳細

日時：2025年12月6日(土) 13:30~15:30

会場：東京都中央区日本橋堀留町1-10-1 カクタビル2階会議室

形式：会場+Zoom配信(録画配信あり)

参加費：無料

申し込み：右のQRコードよりお申込みください



日本車椅子シーティング財団の設立からの歩み

日本車椅子シーティング財団 代表理事 木之瀬隆

2016年2月に一般財団法人日本車椅子シーティング財団（財団）は、当時、衆議院議員の野田聖子先生が代表の「シーティングで自立支援と介護軽減を求める議員連盟」（シーティング議連）のシンクタンクとなるべく設立されました。初期の財団メンバーは、代表理事：廣瀬秀行、理事：川畑善智、山崎泰広、木之瀬隆、古谷彰則、監事：光野有次、評議員：高木憲司、佐野公治、岡島正和、の9名でした（写真）。



活動記録としての年表（下表）より、それらの流れで財団の設立からの歩みについて説明します。その間も我々はシーティングに関す

る国際情報を入手するために、毎年3月に北米で開催される国際シーティングシンポジウム（ISS）International Seating Symposiumに参加し、一部はHPに掲載されています。

2016年10月には、設立記念パーティーを開催しました（写真）。そこでは、シーティング関連団体、野田聖子衆議院議員、厚生労働省の方々より挨拶を頂きました。財団設立からの取り組みであった診療報酬にシーティングを取り入れる活動が進み始めました。その後、厚労省の担当者と数回の打ち合わせを行いました。



活動記録としての年表

2016.2.15	日本車椅子シーティング財団の設立
2016.3.2~4	32rd International Seating Symposiumに参加
2016.10.10	日本車椅子シーティング財団 設立記念パーティーを開催
2017.7.28	念願の「シーティング」診療報酬算定可能が明確化！
2017.9.27	特別セミナー『疾患別リハビリテーション料のシーティングについて』開催
2018.1.15	疑義解釈に関する解説を補足修正
2018.4.14	『診療報酬のシーティングから補装具のシーティングへ』セミナー開催
2019.2.28	財団通信、第一号として2019年春号を発刊
2019.4.13	『座位保持装置等に付属するベルトやテーブルの使用における解釈』セミナー開催
2020.2.18	来日講演予定のローリー・クーパー教授の講演会中止
2020.2.25	第10回「シーティングで自立支援と介護軽減を実現する議員連盟」会議に参加



2017年7月28日付の厚生労働省保険局医療課の疑義解釈資料の中に、「疾患別リハビリテーション料」の算定可能が入りました。ここがターニングポイントとなり、現在はシーティングに取り組んでいる回復期リハビリテーション病院ではシーティング・チームできてリハビリの一環としてリハ訓練時間内にシーティングを行っています（写真）。その年の9月には特別セミナー『疾患別リハビリテーション料のシーティングについて』を開催しました。



写真① 座位評価



写真② 車椅子座位調整



写真③ 食事姿勢チェック
写真提供：五反田リハビリテーション病院

2018年1月には「疾患別リハビリテーション料」の解説を作成して、シーティングの取り組みを医療機関で行うマニュアルとしました。2018年4月には『診療報酬のシーティングから補装具のシーティングへ』セミナーを開催し、補装具との関係性の向上を目指しました。

2019年からは木之瀬隆が代表理事を引き継ぎ、財団通信の発行を開始しました（HP内掲載）。2019年4月には、『座位保持装置等に付属するベルトやテーブルの使用における解釈』を開催し、シーティングと抑制帯の違いの理解を深めるセミナーとなりました。

2020年からは、コロナウイルスの蔓延にともない、海外渡航も難しい状況になりましたが、第10回「シーティングで自立支援と介護軽減を実現する議員連盟」会議は開催されて、介護保険関連のシーティングの課題などが扱われました。また、シーティング関係では世界的な権威であるローリー・クーバー教授の講演会を計画していましたが教授の骨折などで開催が中止となりました。



ISSビッツバーグ：ローリー・クーバー教授と

2021年以降は次号で紹介します。

第52回国際福祉機器展HCR2025・第41回日本義肢装具学会学術大会のご案内

今年も気がつけば8月。今年のHCRは10月8日（水曜日）から10日金曜日までの3日間、東京ビックサイト西と南展示ホールにて開催される。例年と会場が異なるので案内を参照していただきたい。例年同様3日間で10万人をこえる来場者で会場は混雑が予想される。HCR事務局のホームページを確認し、「HCRナビ」など参考にしながら会場を無理なく回ってほしい。右のQRコードからHCRホームページにアクセスしてご確認を。



次に第41回日本義肢装具学会学術大会が11月8日と9日、新潟県新潟市の朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにて開催される。今回のテーマは、国際機能分類（ICF）の環境因子の考えから、義肢装具にとどまらず福祉住環境を含めた福祉用具（以下、福祉用具）にも領域を広げ、治療・リハビリテーション・福祉用具の観点からの「多職種連携による疾患・障害・高齢者へのアプローチ」との案内の通り、対象範囲を福祉用具にも拡大して考察をすることとした。障害の治療、障害のリハビリテーション、高齢者の福祉用具活用の3分野を同時並行で進め、他職種連携と横のつながりを確保し、対象者の社会参加を促す環境整備を促進することを目指すとしている。詳細はホームページをご確認の上参加登録をどうぞ。大会では財団代表理事木之瀬監修のオーガナイズセッションも予定されている。

【医療機関から施設・在宅までの多職種連携のシーティングを考える】

日本義肢装具学会 オーガナイズセッション

日時：2025年11月8日（土）11：20～12：30 70分

内容：シンポジウム形式

2017年に回復期リハビリテーション診療報酬にシーティングが入った。また、2021年には介護保険の介護報酬にシーティングが入り、医療機関から在宅までのシーティング支援制度は整ったといえる。しかし、実践はまだまだ進んでいない状況があり、医療機関から在宅に関わるPT,OT,POなどの職種で車椅子シーティングの円滑な進め方についてプレゼンテーションとディスカッションを行う。

座長：日本義肢装具学会 理事長 花山耕三氏

日本車椅子シーティング財団 代表理事 木之瀬隆

シンポジスト：医療機関：OT JR東京総合病院 遠藤孔太郎氏

施設関係：PT 特別養護老人ホーム白寿荘東 矢貴秀雄氏

在宅関係：PO フロンティア新潟営業所 山田吉称氏



【編集後記】大変な猛暑が続いていますがいかがお過ごしでしょうか。北海道も同様ですがヨーロッパでも猛暑でエアコンが普及していないこともあり生命が危ぶまれる危険な暑さとなっているようです。特に気になるのは体温調整機能に障害がある方々の生活です。地球温暖化の時代、様々な公的助成もありますのでぜひ活用して安全に過ごしていただければと思います。